

熊本・佐賀・長崎3大学合同 第5回みらい有明・不知火シンポジウム
「有明・八代海の再生をめざして」を開催します。

熊本大学沿岸域環境科学教育研究センターでは、この度、長崎大学、佐賀大学と合同で下記のとおりシンポジウムを開催します。

本シンポジウムは、有明海を共有する3県の大学が有明海の再生に向けたさまざまな取り組みを紹介し、その研究成果を地域に還元するために開催しています。市民の方を対象に、3大学の研究者が干潟浅海域に関する研究成果をわかりやすく講演します。さらに、ポスターによる発表も同時に行います。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願ひいたします。

記

【日 時】平成20年11月22日(土) 10:00~17:00

【場 所】熊本大学工学部百周年記念館(黒髪南地区)

【プログラム】

・口頭発表(10:00~17:00)

10:05~ 赤潮発生と有明海環境特性について(熊本大学:齊藤孝・園田吉弘・滝川清)

10:40~ ハマグリの資源管理と砂質干潟の保全(熊本大学:逸見泰久)

11:15~ 堆積物に記録された熊本沖有明海の最近50年間の環境変遷(熊本大学:秋元和實)

13:10~ 有明海底質付着藻類・海苔を起源とする底質凝集性物質の回収とその機能に関する研究
(佐賀大学:原田浩幸・天野佳正・大石明広・吉野、山口大学 山本浩一)

13:45~ 有明海奥部干潟域における脱窒菌群数の分布性と脱窒速度
(佐賀大学:瀬口昌洋・郡山益実・古賀あかね)

14:20~ 有明海佐賀県沖に施された覆砂の経年変化
(加藤地域環境研究所:加藤治、佐賀大学:原口智和)

15:10~ 有明海におけるマナガツオ科魚類(長崎大学:柳下直己・山口敦子)

15:45~ 諫早湾における底層貧酸素水塊の変動特性:とくに風の影響について
(長崎大学:三品裕史・中田英昭平野慶二、東京大学:高橋鉄哉)

16:20~ 総合討論

・ポスター発表(12:40~13:10)

【参加対象】どなたでも

参加申込み不要、参加費無料です。

詳細は熊本大学ホームページに掲載しています。<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

~お問い合わせ~

熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター 秋元
E-mail: akimoto@sci.kumamoto-u.ac.jp